

学長挨拶

知の統合型大学として、 世界水準の研究大学を目指して。

今世紀、日本を含む先進諸国は低成長と財政危機、少子高齢化、感染症の拡大、大規模災害、環境問題など多くの困難な課題に直面しています。このような時代であるからこそ、国立大学は、学問の発展と新たな価値の創出、イノベーションの創造に貢献しなければなりません。

横浜国立大学は、建学以来の歴史の中で育まれてきた「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」の理念（大学憲章）の下に、人文系、社会系、理工系などの多様な専門性を有する教員がOne Campusに集い、社会実践を重視した教育研究を行うとともに、各分野で第一線の学術研究成果をあげてきました。

こうした実績の上に、今後も本学は、国と地域のイノベーション創出の中心的役割を果たしたいと願っています。そのため、多様な学術知・実践知を動員し、産業、地域、市民等の多様なセクターと国内外を問わず、分野を超えてオープンに連携することで、「新たな社会・経済システムの提案」や「イノベーションの創出・科学技術の発展」に資する「知の統合型大学」として「世界水準の研究大学」を目指します。

併せてこのビジョンを教員・職員のみならず、学生・保護者・卒業生・地域とも広く共有し共に成長していきたいと思えます。

横浜国立大学 学長

梅原 忠

PROFILE

1962年大阪生まれ。博士（工学）。日本工学会教育協会委員、大学基準協会委員などを歴任。研究分野は固体物性物理学—超伝導、磁性。主な著書・研究に「Thermal and Electronic Properties of Rare Earth Compounds at High Pressure（共著）」『Handbook on the Physics and Chemistry of Rare Earths』2012年10月、「高圧技術ハンドブック（共著）」丸善2007年1月など。

